

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもとづく医療・介護の実践

くらしと健康

発行 医療法人財団 東京勤労者医療会 1部60円
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7
TEL.03(3404)7661
E-mail address yo\_sosiki@tokyo-kinikai.com
友の会会員は会費に購読料がふくまれています。

地元に残る人 新しい土地で生きる人
思いはさまざま

健康を守りたい 福島から14人来院

福島県に住んでいる(子どもと大人合わせて)14人が、8月4日、東京民医連が主催する健康診断を受けるため、マイクロバスで4時間かけて福島市から代々木病院(東京渋谷区)にやってきました。

ドクタースタッフが本館2階待合室で打ち合わせしていると、エレベーターから子どもたちを先頭に、14人が降りてきました。健診を受けに来たのは、3カ月の子供も7人から9歳までの子ども7人と、大人7人。待合室に明るい声が響きました。

今回のスタッフは、東京民医連の医師、看護師、検査技師、事務などの15人に、神奈川民医連の医師1人を合わせた16人で、そのうち代々木病



会話をまじえながら、なごやかな雰囲気で行われました

今回は福島県で生活する人と、避難先で暮らす人から聞きとりました。また、原発に対する思いも様々です。福島県では、原発を立地することで得られる交付金、原発関連企業で働く方が多い

健診を受ける思い

Aさん 40歳女性
(夫41歳、娘8歳)

ホールボディカウンタ(内部被曝線量を調べる機械)で、Aさんたちは2011年9月から福島県内で体内のセシウム量を測ってきましたが、「最近はおとなになってきている」とのこと。

一方、娘さんが40人の集団で通学する時は(小学校まで徒歩30分)、「娘さん」1人だけマ

スクを着けています」と述べてきました。そして、外遊びは保護先以外ではさせず、犬の散歩は自分が行ない、体操やスイミングスクールへ通わせています。



真剣な表情で検討会に参加する城田医師(画面一番奥)

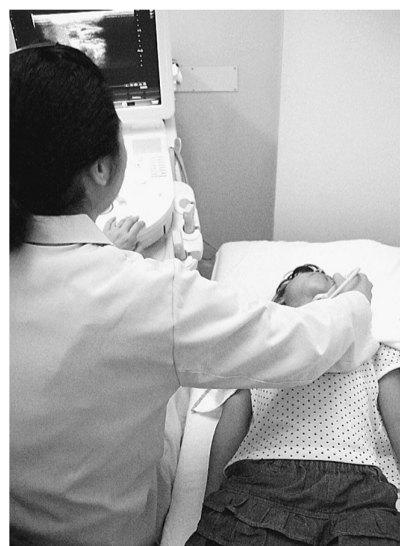
のみで、反原発については「活動の余裕がなく、日々子どもを守るための生活で手いっぱい」とのことでした。

Bさん 42歳女性
(夫43歳、娘9歳)

「布団を干してしまっ」と、Bさんは原発が水素爆発を起こした日の自分の「行動」を悔やみました。そして「カラッと干してみたい」と、ふとんを外で干すことを切

Cさん 42歳男性
(妻42歳、娘15歳、13歳、12歳)

今回とは別の日に健診を受けに来たCさんは震



Eコー検査を受ける女の子

望していました。また、原発事故に対しては、時間が経過して病気が発生したら「どう責任をとってくれるのか」と不安を口にしました。一方、福島で暮らしていくことについては、「家族は離れられない。そこで(福島)生きていく覚悟を決めた」とした上で、「子どもが他県の人と結婚することを決めても、拒否されたら嫌だ」と述べ、「負い目た

いになっちゃう」と肩を落としてきました。今後については「人生を考え直す機会になった」として「本当はどうしたいのか考えたい」と語りました。

2013健康まつり

日時 10月19日(土)

正午~午後3時 小雨決行

場所 代々木病院

企画 スーパーボールすくい、くじ引き、各種模擬店、包丁とき、体力

健康測定など(内容は変更する場合があります。ご了承ください。)

主催 健康まつり実行委員会

千駄の萱

東京体育館の入口に千駄ヶ谷駅から出ると見える掲示板。その数字が一桁に

日の朝5時(日本時間)からはじまる国際オリンピック委員会(以下IOC)総会で、2020年夏季オリンピック開催都市が決まる。東京になるかはさておき、IOCはオリンピック憲章「根本原則」第二項に「オリンピックの目標はスポーツを人類の調和のとれた発達に役立てることにあり、その目的は、人間の尊厳保持に重きを置く平和な社会を推進する事にある」とし、第六項に「人種・宗教・政治・性別・その他の理由に基づく国や個人に対する差別はいかなる形であれオリンピックとは相容れない」としている。オリンピックは過去2回の大戦で3回中止された。16年ベルリン、40年東京、44年ロンドン。東京は日中戦争の拡大が理由だ。安倍首相と側近は植民地支配と侵略を認めず、自衛隊を国防軍にしよう、徴兵制にして兵役拒否すれば死刑などと、時代逆行の言葉を公然と言いだした。日本が現憲法を守ることはオリンピックがその原則通りに開催されることと同じくらい大切と思う。(み)